

新年あけましておめでとございます。

今年も町民の皆様にとって、良い年でありますように、心からお祈り申し上げます。

私は、昨年の4月11日の町長選挙において、町民の皆様から強いご支援をいただき、町長の重責を担わせていただくことになりました。私は、地域の連携・協働・融和を基本として、皆様とお約束した10項目にわたる施策を推進してまいります。

今年、その方針を下に、初



洞爺湖町長 真屋敏春

めの予算を編成し、まちづくりを具体的にスタートさせる年となります。

昨年を振り返りますと、洞爺湖温泉誕生100年という節目の年に当たり、マンガ・アニメフェスタ、感謝祭などのイベントや洞爺湖周辺の食のアピールなど、年間を通して洞爺湖町の魅力を内外に発信することができました。

いまだ混迷を見せる経済情勢の中で、当町の主力産業である観光においても、厳しい状況が

続き、深刻な事態を迎えています。

今年、町民皆様の力をお借りしながら、昨年の温泉誕生100年の取組みを、具体的な集客に結びつけ、洞爺湖温泉の再生に尽力していきたいと存じております。

同時に定住人口が減少し、高齢化率が30%を超えるなど、地域の活性化は、洞爺湖温泉のみならず、町全体にとって大きな課題となっています。

空き家などを活用したエターン、Uターンなどの定住対策を積極的に促進するとともに、空き店舗についても、企業誘致や起業の環境整備によって、地元中小企業の活性化のみならず、雇用の場の確保につなげ、元気のあるまちづくりに邁進していく所存であります。

こういったまちづくりを進めるためにも財政基盤の確立が、重要となってきます。

ご承知のように当町は、平成20年度決算で、財政健全化団体となりました。それにより、平成24年度決算で同団体からの脱却を図る財政健全化計画を作成し、行財政改革と健全化への取り組みを推し進めてきました。

その結果、平成21年度の決算と平成22年度の執行状況の中で、町民皆様のご協力もあり、1年早く同団体から脱却できる見通しとなっております。

しかしながら、まだまだ財政基盤は脆弱で、少子化による人口減や不況による税収の伸び悩みなどを考えますと、引続き財政の健全化を推し進めていかねばならない状況です。

今年の干支である卯年は、うさぎの上り坂」ということわざがあるように、大きな飛躍が期待できる年であるといわれます。

今年、秋に第2回の日本ジオパークの全国大会が開催され、そのほか地域活性化と結びつけた、地場産品をアピールする食のイベントなど、町の様々な魅力溢れる資源を効果的に活用することで、まちに元気を呼び戻したいと考えています。

豊かで、誇りが持てるまちづくりを目指して、職員一丸となって進んでいく所存でありますので、町民の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

本年が町民皆様にとって、実りある年となりますようご祈念し、新年のご挨拶と致します。

でとうございします